

ふわふわ飛ぶ！おばけの飛行機をつくろう

わっか飛行機のつくり方

★★★★★

10分

準備リスト

- はさみ (カッター)
- のり (カッターマット)
- ペン(オリジナルでつくる場合)

つくり方



はさみでパーツを切り離し、手の部分はカッターで切り込みを入れます(カッターがなければ切らなくてもOK)。

模様が外側になるように三角に折ります。

点線のある上の1枚だけを①の線で谷折ります。



さらに②の点線、③の点線の順に谷折ります。

端ののりしろにのりをつけて、もう片方の端に差し込み、貼り合わせます。

形を丸く整えたら、目と目のあいだ、頭の真上にくるように、羽根をのりで貼りつけます。

MISSION COMPLETE!

【投げかた】

階段などできるだけ高さがあり、風のない場所を選びましょう。うまく飛ばすコツはしっぽを持ち、地面と平行になるように投げること。スピードが早い方がふわふわとよく跳ねます。

※投げるのが難しいときは「地面と平行に」落としてみましょう!



プラスアイデア!



白い型紙にすきなものをかいたら、オリジナルおばけ紙飛行機の完成!

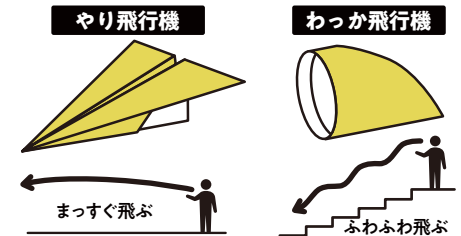


おし教えて!ミッケ!

飛行機の形、飛び方のひみつ

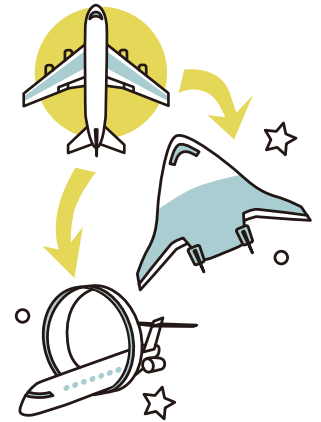
わっか型の不思議な“紙”飛行機!

紙飛行機と聞くと、翼の先が細くとがった“やり飛行機”を思い浮かべますが、じつはこの“わっか型”も紙飛行機のひとつ。飛行機がまっすぐ遠くへ飛ぶのにくらべて、わっか飛行機はおばけのようにふわふわと上下に跳ねながら飛ぶのが特徴。型紙のままでもじゅうぶんに飛ぶますが、紙の大きさや厚み、折る回数などを変えると飛ぶ距離が長くなったり、上下の動きが大きくなったりします。オリジナルのアレンジを加えて、飛び方を観察してみましょう。



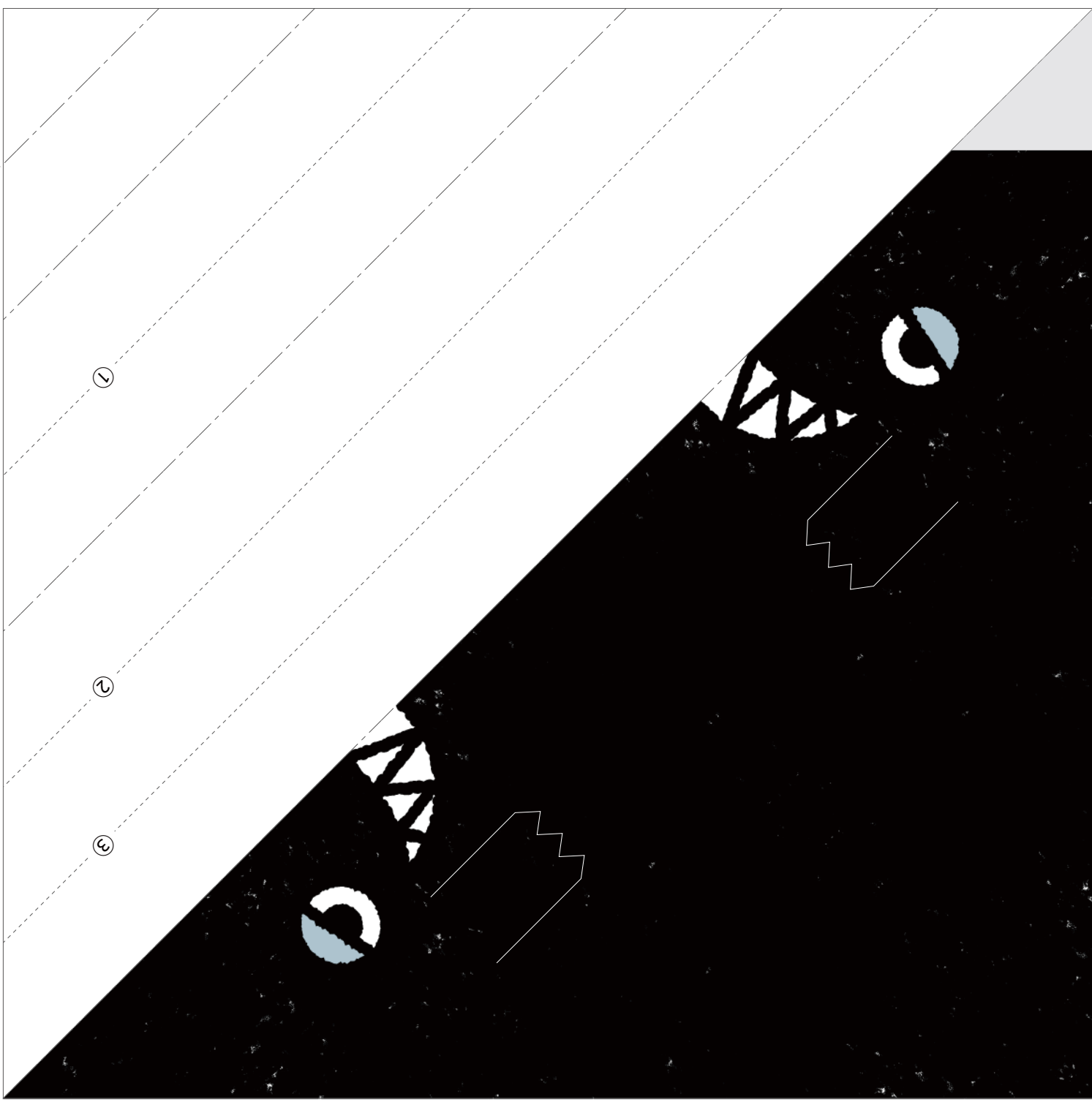
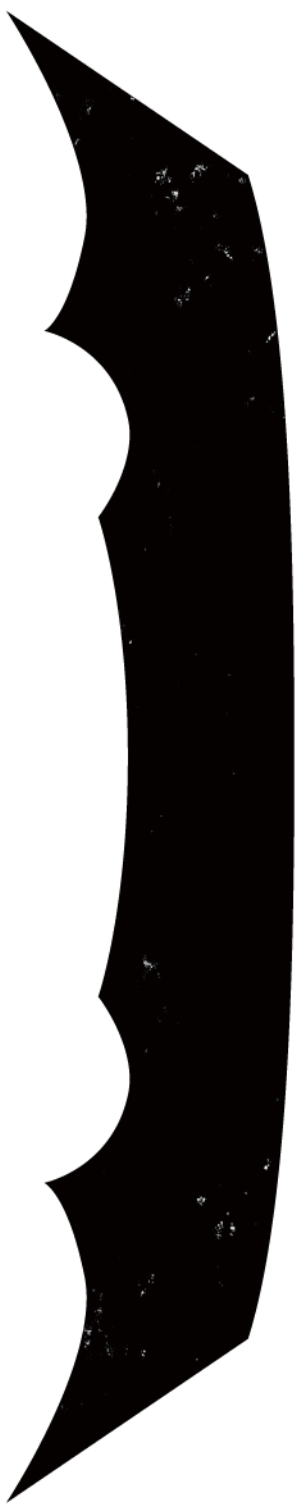
未来の飛行機はわっか型?!

実際の飛行機も、新しい形がどんどん生まれています。よく見かけるのは長い胴体に三角の翼がついた飛行機ですが、最近では「胴体と翼を一体化」したものが開発されています。胴体と翼をひとつにすることで空気の抵抗を減らし、少ないエネルギーでも長く飛べるようになるのだとか。そしてなんと、わっか型の飛行機も研究が行われています。未来ではわっか型飛行機が当たり前空を飛んでいるかもしれませんね。



ほかにも、もっと速く飛べるものや静かに飛べるものなど、いろいろな飛行機が研究されているじゃ!





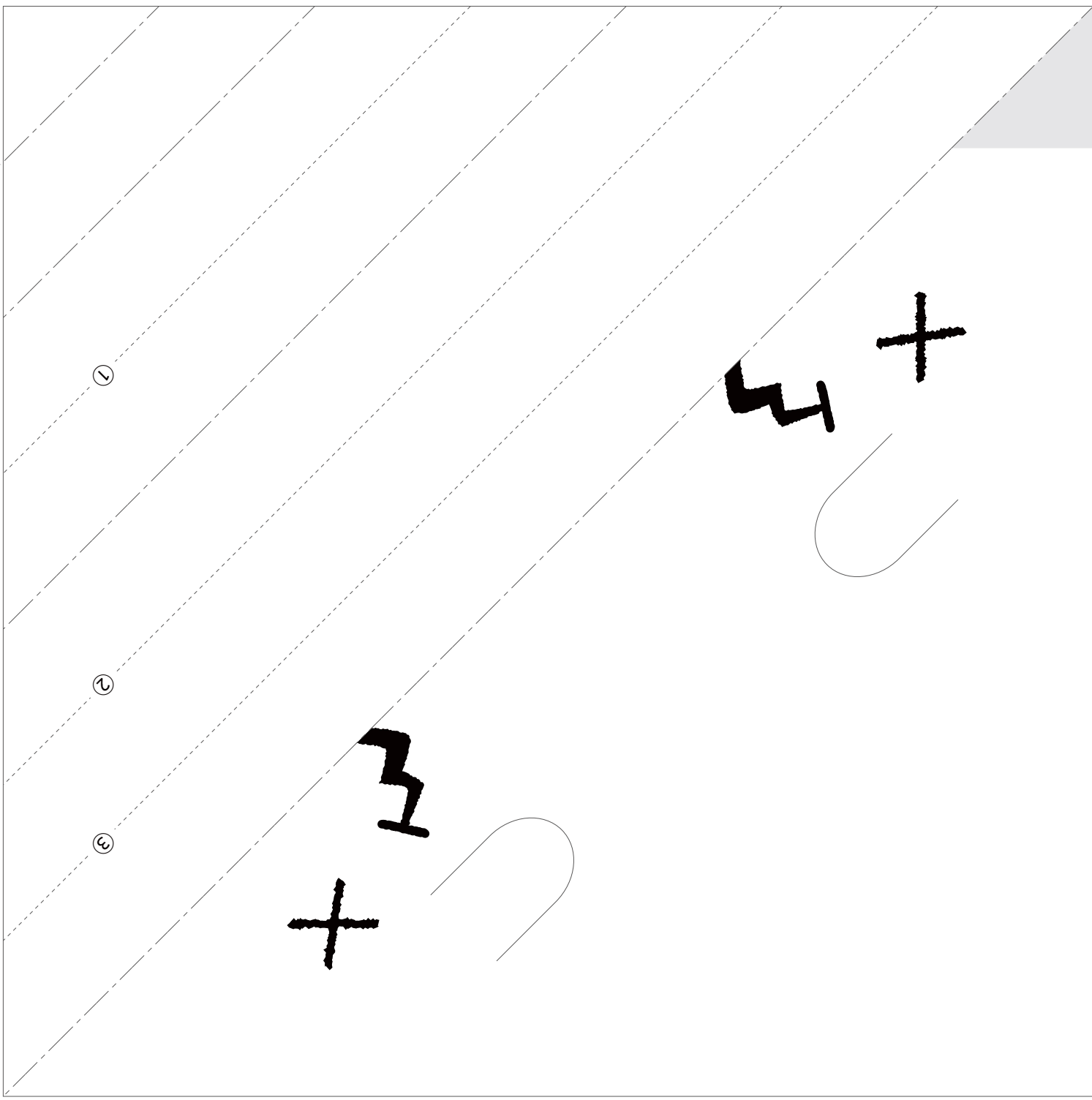
山折り / Mountain fold

切る / Cut

●
LITTLE
■
LITTLE

谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste



山折り / Mountain fold

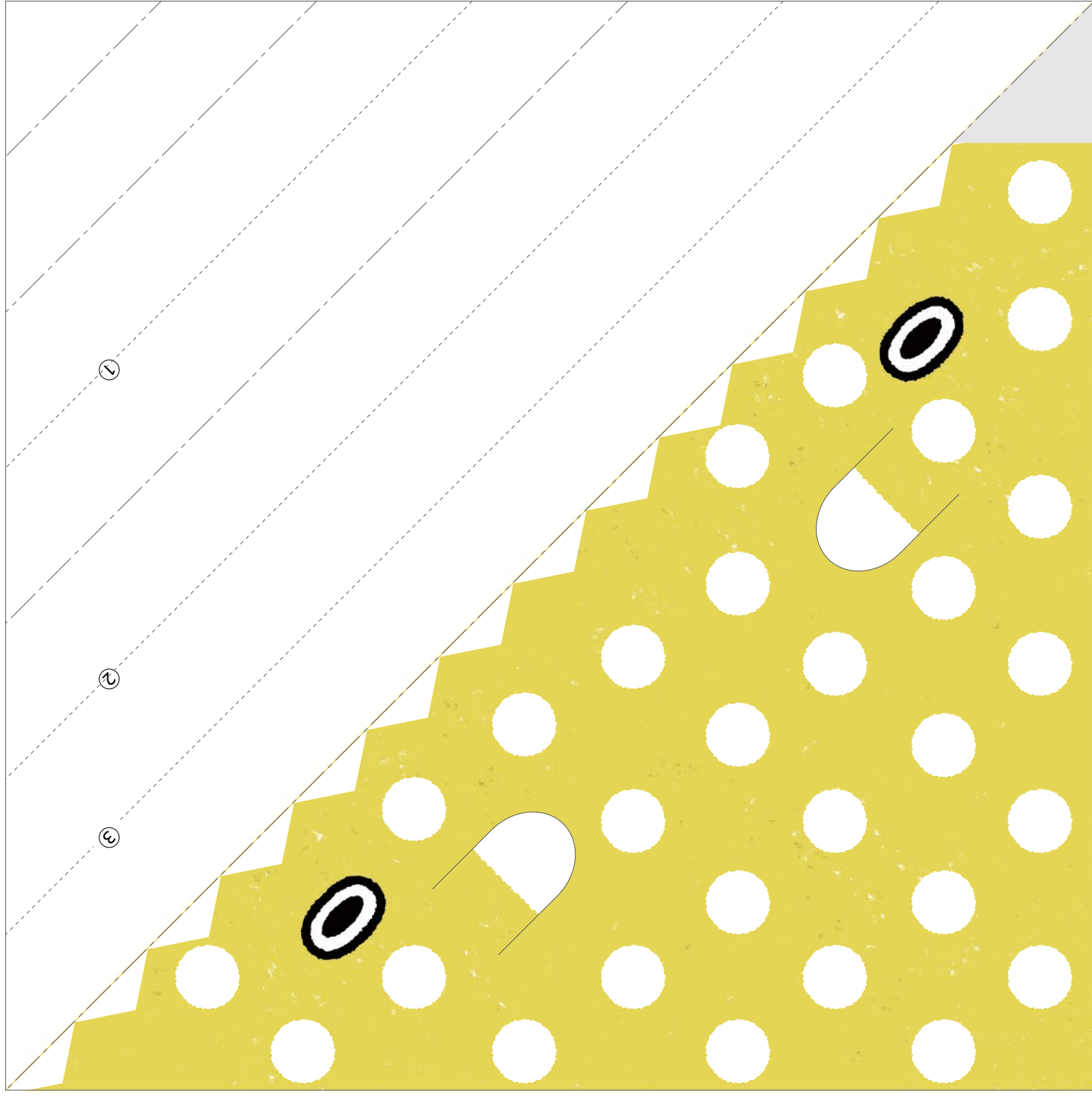
切る / Cut



谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste





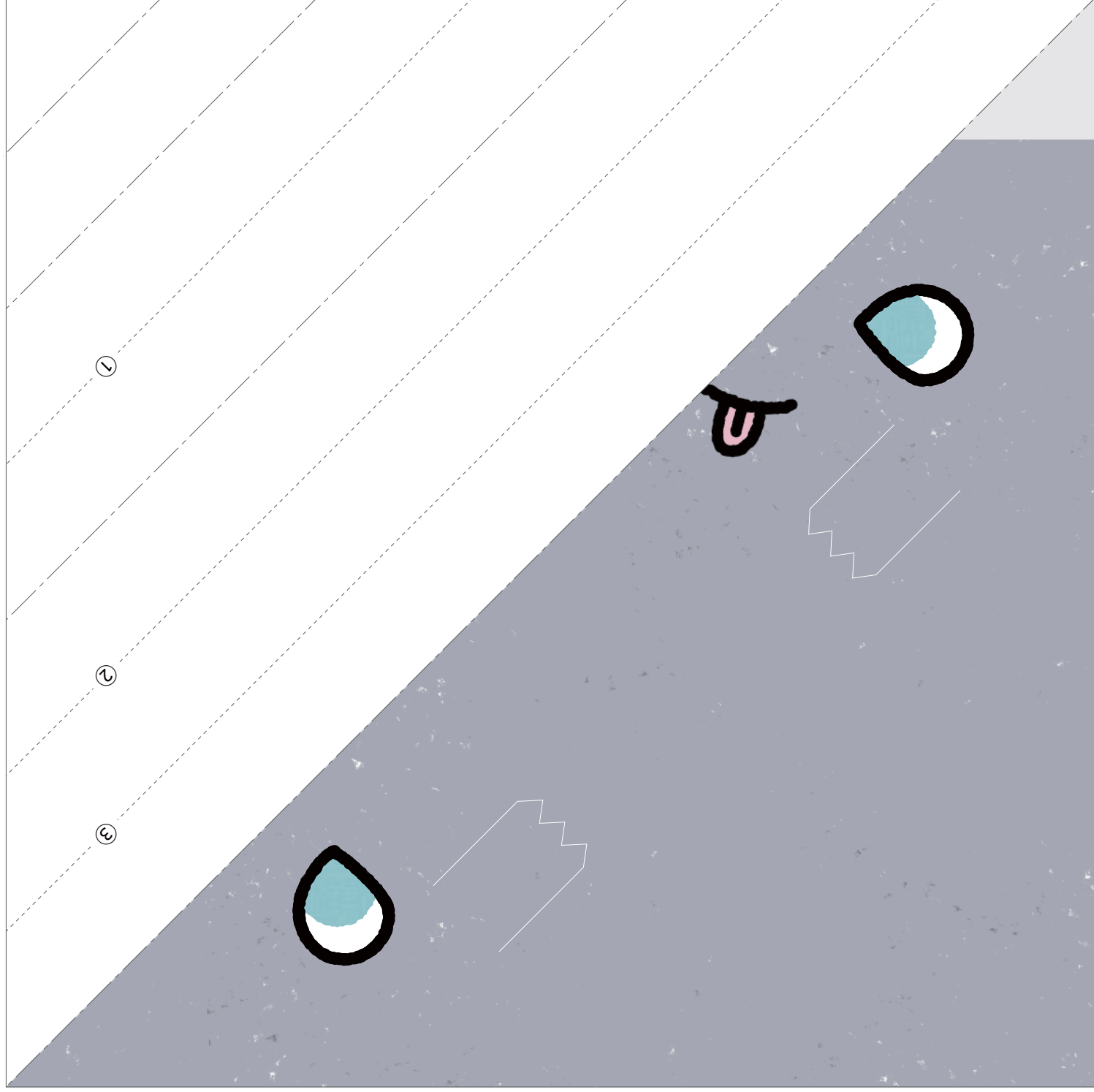
山折り / Mountain fold

切る / Cut

**LITTLE
LITTLE**

谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste



山折り / Mountain fold

切る / Cut



谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste



山折り / Mountain fold

切る / Cut



谷折り / Valley fold

のりしろ / Paste

